

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年5月22日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	17週 4月20日～4月26日	18週 4月27日～5月3日	19週 5月4日～5月10日	20週 5月11日～5月17日	
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	580 116.00	530 106.00	287 57.40	401 80.20	
	1 0.20	2 0.40			
	9 1.80	11 2.20	4 0.80	3 0.60	
小児科定点	RSウイルス感染症*				
	咽頭結膜熱*		1 0.33	1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	8 2.67	7 2.33	2 0.67	8 2.67
	感染性胃腸炎	14 4.67	2 0.67	4 1.33	3 1.00
	水痘			1 0.33	
	手足口病			2 0.67	1 0.33
	伝染性紅斑		1 0.33		
	突発性発しん	3 1.00	1 0.33	3 1.00	1 0.33
	ヘルパンギーナ*			1 0.33	
	流行性耳下腺炎				
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎	5 5.00	1 1.00		3 3.00
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	
	川崎病	1	1		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

・なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 急性呼吸器感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの患者報告数は、前週より増加しました。
- この二つ疾患の動向は県全体でも同様の傾向です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、高熱・咽頭痛・嘔吐などを主症状とするA群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、感染経路は飛沫感染や接触感染です。家庭・学校などの集団生活での感染も多いとされていますので、感染症予防のため、咳エチケットや、手洗いなどを徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

・新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- 研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- 御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【お知らせ】

- 国内で麻しん(はしか)が流行しています。
- 麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- 予防にはワクチン接種が有効です。2回接種していない方は、接種を検討してください。

【感染症コラム～破傷風～】

- 自然界の土壌に存在する破傷風菌が産生する神経毒により引き起こされる感染症です。人から人への感染はありません。
- 破傷風菌が傷から体内に侵入すると、約3～21日間の潜伏期間を経て、開口障害、顔面けいれん、嚥下困難等が出現した後、呼吸困難や後弓反張に移行します。重篤な場合、呼吸筋の麻痺により窒息死することがあり、致死率は10から20%と報告されています。
- 治療は、抗破傷風ヒト免疫グロブリン、抗菌薬により行われます。
- 予防は、破傷風トキソイド含有ワクチンが有効です。(現在は五種混合ワクチン及び二種混合ワクチンによる定期接種が行われています。)また、怪我をした場合は、土壌などに汚染された傷を洗浄し、泥や異物を取り除いてください。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594